

第1回 新居浜市政策懇談会 ワーキンググループ（活力ある産業活動の実現）  
議事録

日時 平成29年9月27日（水）15:00～

場所 市役所3階 応接議会室

議題	発言者	議事、発言内容
開会		
事務連絡	事務局	配布物の確認、報酬等についての説明
経済部長あいさつ	鴻上経済部長	
座長あいさつ	萩尾座長	
自己紹介		委員、事務局それぞれの自己紹介
WGの進め方について	事務局	<p><b>資料</b>「平成29年度 新居浜市政策懇談会」（P2～6）に基づいて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長が掲げる7つの公約のうち、「活力ある産業活動の実現」のための提案をとりまとめ、政策懇談会本会に提出する。</li> <li>・11～12月の第2回政策懇談会までに3回程度WGを開催し、提言をとりまとめる。</li> <li>・テーマとして①産業を支える人づくり、②観光・物産の振興が必須となっているが、それ以外のテーマの設定も可能である。</li> <li>・本日の第1回WGでは、市の取り組み状況について意見交換を行い、委員より新たな取り組みへの提案書を10月中に提出いただき、その内容について第2回WGにおいて検討を行う。11月中に第3回WGを開催し、提言をとりまとめる。</li> </ul>
平成29年度「産業を支える人づくり」関係施策について説明	黒下次長兼産業振興課長	<p>「平成29年度 新居浜市政策懇談会」（P7～9）に基づいて説明。</p> <p>※「11：中小企業振興条例」について、資料に無い人材養成事業についても説明。</p>
人材確保・人材育成に関する意見交換、市の施策に関する質問等	萩尾委員	<p>現在、機械産業協同組合では鉄工関係78社がマイントピア別子の遊戯列車製作プロジェクトに取り組んでおり、組合が活性化している。このプロジェクトを映像として残したく考えており、産業を支える人づくりと関連して行政の支援をいただきたい。</p>

	小野委員	「1：雇用促進費」で行っている企業説明会とはどのようなものか？
	黒下次長兼産業振興課長	<p>8月19日に銅夢にいはまにて一般、高校生向けの企業説明会を実施。37社の出展、41名の参加者があった。内定が出た後なので、開催時期について見直しを検討。</p> <p>また、これとは別に6月に高校生向け企業説明会を行い、4月には西条市と合同で大学生向けを開催した。</p>
	小野委員	私も機械産業協同組合に加盟しており、工業高校と連携して企業訪問など行っている。望んでも人が来てくれないのが現状で、今後は普通科高校にも対象を広げ、企業説明会を行っていただければ地元就職につながると思われる。
	黒下次長兼産業振興課長	高校生向け企業説明会については、6月に実施しており、35社の出展と140名あまりの高校生の来場があった。こちらは商業高校の生徒が大勢来場しており、普通科の生徒にも声かけをしている。
	萩尾座長	この企業説明会は全産業含めたものだと思うが、ものづくり企業に特化したものを開催したいという要望もある。我々が出向いていくことも厭わない。
	野本委員	<p>事業の説明を聞いていて、自身に関係するものが多く驚いた。本校は毎年160～170名の卒業生を送り出しているが、定員割れしている。地元企業に送り出す人数を増やしたいが、中学生の人数が減る状況下で学生確保の取り組みとして東予地方の中学校を訪問している。</p> <p>中学生は地元にもどのような企業があるか知らない。来年から中学生のインターンシップの日数が増えるので、地元企業に関心を持ってもらえる取り組みを行っていただき、地元企業に就職するための動機付けとして工業高校を選択してもらえるようになれば良い。</p>
	萩尾座長	子供が小さいころから地元企業を知ってもらうための取り組みも大事だと感じた。中学生向けの工場見学などを市に企画していただきたい。

	松友委員	<p>工業高校とは逆になかなか高専の名前が出てこないのが残念。本校は地元貢献を謳っているものの、実を結んでいないのが現状である。卒業生の大多数が市外・県外にでていってしまう（地元に残るのは各学科4～5名程度）。インターンシップも東京、大阪といった都会を志望する学生が多い。地元企業と学生の溝、高専と地域の溝があるように思われる。</p> <p>また、高専としては、地元企業の共同研究で地元貢献をすすめたいので、その辺りの支援をうまく活用していければと思う。</p>
	萩尾座長	<p>委員が言われるように、高専と我々地元企業の間には溝を感じる。ここ数年で高校や愛大との距離は近づいたと感じられる。我々も努力しなければならないが、行政の支援をいただきながら高専との溝を埋めて、地元就職して活躍していただきたい。</p>
	近藤委員	<p>以前、南予の方を1名雇ったことがあるが、地元の子と違って、一人暮らしで出ていくお金が多いのが気の毒だった。市営の賄い付の寮を作ってもらえないかということのを常々考えていた。</p>
	黒下次長兼産業振興課長	<p>南予だけでなく高知の学校の先生からもそのような要望を聞くが、仕組みについては機械産業協同組合と相談しながら今後検討していかなければならない。</p>
	萩尾座長	<p>私は大学生時代、東京で東予学舎に寄宿していた。そのようなものができれば良いと思うので、何か良い方法はないかこれからご相談したい。</p>
平成 29 年度「観光・物産の振興」関係施策について説明	宮崎運輸観光課長	<p>「平成 29 年度 新居浜市政策懇談会」(P10～15)に基づいて説明。</p>
	寺岡委員	<p>県外に出たときに、新居浜市の知名度の低さを感じる。今治市や高知県馬路村はブランドとして確立しており、大都市の小売店のバイヤーは名前だけで仕入れを決めるほどである。市の事業を見ると、内向きの事業が多いように感じられる。外向きの情報発信に取り組んでほしい。全国的に新居浜市の知名度が上がれば、市外に出てもふるさとに誇りを感じ、地元企業に</p>

		<p>就職するモチベーションにもつながるのではないか。今後人口減少が進む中、地元の観光資源を掘り起こし、新居浜ブランドの売り込みを行いながら10年先を見据えた事業に取り組んでいただきたい。</p> <p>また、「Hello! NEW」のロゴの使用について、使用料無料で利用させていただきたい。熊本の「くまモン」は永久使用料無料で多くの商品に活用されている。特に我々食品業界では、食品表示法の改正に伴い商品のラベルを更新しているところであるので、ぜひハードルの低い運用をお願いしたい。</p>
	総合政策課・佐藤係長	<p>「Hello! NEW」のロゴについては、地方創生推進室に確認してみる（今年8月に要綱を定めており、使用料無料。1年ごとに更新申請が必要）が、市としても是非ご活用いただきたい。</p>
	鴻上経済部長	<p>補足で全国へのPRということでは、来年1月に東京ドームで開催される「ふるさと祭り東京 2018」に新居浜市として出展し、口屋太鼓台が参加する。その後大手町の三井住友銀行本店に展示される。</p> <p>平成31年には東予東部広域イベントとして、県と東予3市が連携して「山」・「ものづくり」をキーワードにイベントを行う。こういったところを通じて新居浜市のPRを行っていききたいので、物産協会におかれましてもご協力をお願いしたい。</p>
	吉本委員	<p>イベントを開催しても、市外・県外からの来客が少なく、市民向けのものになってしまっている。観光協会の使命として、市外から人を呼び込むことを念頭において事業に取り組んでいかなければならないと考えている。「新居浜紀行」という新居浜を紹介するパンフレットの内容を見直しているが、「工都・新居浜」の紹介に力を入れた結果、観光資源の紹介が弱くなっている。今後は「ものづくり」と観光を両立させていきたい。</p> <p>観光マップの多言語化については、来年1月の東京行きまでに仕上げ、東京で配布し、県外での知名度向上に努めたい。</p>

	越智委員	9月12日から10月10日まで「いもだき」を行っているが、新居浜市民の利用が少ない。「ふぐざく」についても、市民の口に入る機会は少ないように思われる。その一方で、回転寿司店、セルフのさぬきうどん店は全国屈指の売り上げをあげている。地元の店、物産のPRに力を入れていかなければならない。フグを扱う鮮魚商の高齢化、料飲組合の会員数の減少(700→160)という状況において、市の支援を得ながら大々的なイベントにしていきたい。
	松本委員	(株)マイントピア別子は、レストランの直営に取り組んだり、旅行業の免許を取得したりしてここ数年業務の変革に取り組んできた。そこで満足せず、しっかりサービスができる人材の確保・育成に努め、観光振興を社の命題として市と連携しつつ取り組んでいきたい。
	萩尾座長	「新居浜のお土産を考えて欲しい」と市長によく言われる。食べ物にしても工業製品にしても、何か考えていかなければならない。
	鴻上経済部長	ものづくり企業で銅を使って何か作れないか？
	萩尾座長	よく言われるがなかなか・・・
	本田委員	別子銅山開坑300年の折には、住友が竿銅を模した文鎮を作って配布したが、新居浜市内の企業で銅製品を製作しているところはなかなかないのでは？
	萩尾座長	良いアイデアがあれば積極的に提言していただきたい。
その他のテーマの設定について	事務局	
次回WGの開催について	事務局	次回の日程、提案書の書き方等について説明
閉会	萩尾座長	